



子どもは風の子 ～昼休みの校庭～

学校長 赤堀 貴

昼休みの校庭の様子は、その学校の元気度を表すバロメーターと思っています。寒さの厳しい真冬ですが、本校では昼休みになるとたくさんの生徒が校庭に出てきて、ボール遊びをはじめとして元気に体を動かしています。その様子を見ていると「子どもは風の子」ということわざが出てきます。5日に降った大雪の時も、楽しそうに雪と戯れていました。エネルギーがいっぱいなこと、友人と一緒に遊ぶことが自然にできることは大変好ましいことです。



1秒、目を合わせて ～より嬉しい挨拶の効果～

年に何度か学校訪問する教育委員会の指導主事から、中田中学校の生徒はいつもよく挨拶してくれますねとお褒めの言葉をいただきますという話を、2月の全校朝会で話しました。私も毎日、昇降口で登校してくる生徒に短時間ですが挨拶をしています。挨拶はしてくれるのです



が、会釈だけだったり、顔を合わせることなく行ってしまう生徒も多いので少し残念だなと思っていました。そこで、朝会の話の中で、挨拶のときに



1秒でいいから目を合わせてください、という話をしました。その翌日、なんとほぼ全員が私と目を合わせて挨拶してくれるようになったのです。もう、全然違います。顔が上がり、目が合うってこんなに気持ちが通じるのだと自分でも驚いています。とても嬉しいです。仲良しになった気持ちになります。目を合わせるって、こんなに大切に効果も抜群なんだと改めて実感しました。挨拶はもちろん、何かを伝えたい場面でも目を合わせることを大切にしたいと思います。

3年生には最後の学校だよりになります

公立高校の入試も終わり、3月12日の卒業式まであと僅かとなりました。3年最後の3か月は進路決定の時期で、それぞれ進路が違うのでクラスや学年がバラバラな雰囲気になってしまうものです。しかし、最後の3週間は、再びみんなで残りの中学校生活を頑張ろう、楽しもう、いい卒業式にしようと同じ気持ちになれると思います。1・2年生の後輩達、先生方も、3年生の皆さんのために日々いろんな準備をしています。このような周りの人達の気持ちが分かる人、応えられる人であってほしいと思います。卒業式でひとり一人、担任の先生から呼名され、壇上で卒業証書を立派な姿で受け取るのを楽しみにしています。



豚汁

1月の『振り返り Report』(毎月末に全生徒が記入する振り返り)に目を通して見ると、多くの生徒が百人一首大会後のPTAの方が作ってくださる豚汁について記述していました。「百人一首大会後の豚汁がめっちゃめっちゃうまかった!」「豚汁がとても美味しく、体が温まりました」「豚汁はおいしくて、いい思い出になりました」「今月唯一の後悔は豚汁を食べられなかったことです。唯一の楽しみだったのに」「ごま油を入れるともっとおいしくなった」「おいしくお代わりもできてよかった」私がかつて教員として中田中にいた当時から行われていています。もはや伝統です。寒い体育館で百人一首に夢中になった後の暖かい豚汁は最高ですね。ありがとうございます。



【泉区 合同学芸会】

1月25日に泉公会堂に泉区8校の個別支援学級が集まり、『泉区 個別支援級合同学芸会』を行いました。11月から発表練習を始め、校内での発表を行い、本番に臨みました。発表前の緊張した表情や、終えた後の充実感にあふれた表情から、このステージに対する思いが感じられ、いい思い出を作ることができました。



【1・2年百人一首大会】

1年生は1月23日、2年生は1月31日に百人一首大会を体育館で行いました。日頃の練習の成果を発揮しようと真剣な表情で競技に臨んでいました。おいしい豚汁もいただきました。PTAの皆様ありがとうございました。楽しい時間を過ごすことができました。

1年生



2年生



豚汁

